

U 協 近 畿 通 心 ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

【 は じ め に 】

近畿事業推進部の川畑です。

年が明けあつという間の1カ月。新春特別企画大前さんに「世界の新潮流2022年」を学ぶには全国から1,600名あまりの申込があり、キャンセル待ちも多数発生しました。「大前さんに学ぶ」シリーズも11回目になります。毎回盛況です。ありがとうございます。

春闘は連合が5%程度賃上げ要求を掲げる中で、サントリー6%、日本生命とロート製薬7%といった賃上げムードのニュースが流れています。

また、ファーストリテイリングが3月から年収を最大40%引き上げるというニュースもあります。1990年を100とすると、2021年の賃金上昇率、アメリカは日本の9倍、イギリスは日本の8倍となっています。

賃金が上がっていくのは個人にとってはいいことですが、企業の生産性向上の裏打ちがないと健全ではないですね。

なぜ日本の労働生産性が先進7カ国中最下位ということなのかもよく考えないといけません。

1/24～26は大寒波襲来で、京都、滋賀などは雪で大変でしたね。電車内に長時間閉じ込められ帰宅できない方もいらっしゃったようで、大変でしたね。

JR西日本も、これを教訓にアクシデントが発生した際の対策を、迅速に対応できるようにして欲しいですね。私も東京出張帰りで新幹線が40分遅れました。米原～京都間をゆっくり雪景色みながら考え事してました。雪って眺める分にはいいですけど、雪害は困りますね。

今月もU協近畿通心を愉しんでいただけると嬉しいです。



1/25東京からの出張帰りの新幹線車中から。
大寒波襲来日の富士山です。
晴れてとてもきれいでした。
このあと米原から京都まで雪のため40分遅延しました。

【 I C T 用語豆知識 「ゼロトラスト」をご存じでしょうか】

「ゼロトラスト」とは、「何も信頼しない」を前提に対策を講じるセキュリティの考え方です。デジタル活用の促進により業務効率がアップした一方、これまで見過ごされがちだったセキュリティリスクが顕在化しています。

それを踏まえて提唱されているのが「ゼロトラスト」というセキュリティの考え方です。

従来のセキュリティ対策は、信頼できる「内側」と信頼できない「外側」にネットワークを分け、その境界線で対策を講じるというものでした。

その境界線にファイアウォールやプロキシ、IDS/IPSなどのセキュリティ機器を設置し、通信の監視や制御を行うことで外部からのサイバー攻撃を遮断する考え方です。

しかし現在は、クラウドが普及したことにより、**外側であるインターネット上に保護すべきものがある状況が珍しくありません。**

このように、守るべき対象がさまざまな場所に点在するようになったことで境界が曖昧になり、従来の考え方では十分な対策を講じることが難しくなっています。

そこで広まっているのが**ゼロトラスト**の考え方です。こちらは**すべての通信を信頼しないことを前提にさまざまなセキュリティ対策を講じていきます。**

具体的には、**ネットワークの内外に関わらない通信経路の暗号化や多要素認証の利用**などによるユーザー認証の強化、ネットワークやそれに接続される各種デバイスの統合的なログ監視などが挙げられます。

ゼロトラストを実現するためのセキュリティソリューションは、たとえば、クライアントPCの監視とログの分析によりサイバー攻撃のいち早い検知と対処を可能にする**EDR (Endpoint Detection and Response)**や、**ワンタイムパスワード認証や端末認証などを利用した認証強化**や、デバイスのセキュリティ状態などに応じて**アクセス制御を行うIAM (Identity and Access Management)**などがあります。

先月は第100回「伝わってこそ言葉」（2022.7.15）をご紹介しました。

いかがだったでしょうか。今回は第101回「好かれる」（2022.8.15）をご紹介します。

人に好かれることの大切さを多くの識者が語っています。好かれればこちらもその相手を好きになるからです。それはウインウインでありラブラブです。まれには偏屈なへそ曲がりがいるにしても、この関係が順調にいつている組織や社会は、平和なはずで。しかし、現実の人間関係はそう単純ではありません。人を憎んだり疑ったり、軽蔑したり、羨んだり嫉妬したりと、錯綜する負の感情に悩まされることが多いのです。今回は、そうした感情を乗り越えて、好いて好かれる平和な人間関係はどうしたら築けるかを考えます。

鏡は先に笑わない

簡潔にして心に響く箴言（しんげん）、格言の類が私は好きです。十数年も前のことですが、何気なく手にした月めくりカレンダーの脇に、「鏡は先に笑わない」と書いてありました。当たり前その言葉に、いたく共感した記憶があります。その横には、投稿した女性の、「小学校の保護者会で、担任の先生から聞いて感動した言葉です」という説明が添えてありました。平易なひと言で、子どもたちに人間関係の機微を教える先生の存在に感心したものでした。

人生訓を書き記した別の本には、「人に好かれたかったら、先ず相手を好きになることだ」とも書かれていました。これもまた納得できる言葉です。しかし、そのことを実践するとすると、どちらも結構ハードルが高いのです。

苦手なものを好きになる

「苦手な人と笑顔で話す」「人や物への嫌悪感を払拭して好きになる」、この容易ではない課題に、私は30年も前から挑戦してきました。その手法の一つをご紹介します。

「あなたの嫌いなものを一つ挙げてください。食べ物でも、動物でも、虫でも、スポーツでも、季節でも、乗り物でも、何でも結構です」コミュニケーション関係の研修会などで、先ずこう呼びかけます。さまざまな嫌いなものが出てきますが、共通して挙げられるワーストワンは「ゴキブリ」なのです。いつの時代も、ゴキブリの評判は芳しくありません。

「それでは皆さん！これから皆さんにゴキブリの弁護人になっていただきます。そして嫌われもののゴキブリにもこんな良いところがある、それを探してください！」

グループ討議で、あるいは個人の発想で、弁護人たちはいろいろ出してきました。ゴキブリは生命力が強く、カブトガニのように太古から生き延びてきた。ゴキブリは敏捷なので、素早く叩くことでこちらの敏捷性も鍛えられる。ゴキブリが入り込まないように、キッチンを衛生的にきれいに片づける習慣ができる。ゴキブリ撲滅の捕獲器や殺虫剤を作る会社が儲かる。素早く走ったり飛んだりもできる高い運動能力を持っている。子どもの昆虫観察にも役立つ……。いかがでしょうか、嫌われもののゴキブリにもこんなに良い点、優れた能力があったのです。そう考えると、毛嫌いが緩和されてゴキブリが少し好きになりませんか？

人には必ず良い点があります。苦手な人、嫌いな人でも、その人の良い点だけを見つけてください。あなたの笑顔が相手に伝わり、人間関係が必ず良くなるでしょう。

よく質問する人は好かれる

人間には、「物欲、食欲、性欲」という三大本能があることはよく知られています。実はこれにもう一つ「教欲」を加えて四大本能とも言われます。人間は自分が知っていて相手が知らないことを相手に教えることに、本能的な喜びを覚えます。この「教欲」が、好かれるために重要な役割を担うのです。つまり、**たくさん教えてもらえるように訊くことです。**

以前にお会いした、小田原のある練り製品を作る会社の社長さんは、部下に質問するのが得意でした。「それはどういうこと？それは分からないから教えてほしい」と意図的に訊くのだそうです。部下は一所懸命に説明します。社長は質問を交えて真剣に聴きます。すでに知っていることでも、聴きます。まだ若い社長は、部下から絶大な信頼を集めているようです。

「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」

子どもの頃からしつけられたこの三つの言葉、最近言えない人が増えているそうです。

研修でうかがった千葉のある著名なゴルフ場の支配人から聞いた話です。そのゴルフ場では、お客さまサービスの向上のため、キャディーにランクづけをしていました。長く務めているベテランキャディーの一人は、スキルは高いのですがお客さまの評価が低く好かれないうのです。悩んで退職まで考えていた彼女に、支配人が一つアドバイスをしました。「お客さまに何か言われたら、『はい』『ありがとう』『ごめんなさい』を言いなさい」と。ほどなく、彼女の評価は急上昇したそうです。**好かれるためには、日常使っている言葉の印象はとても大きいのです。**

【ユーザ協会の得意技！ 人生100年時代をICTで支えるデジタルヘルス】

今回は、デジタルヘルスによる医療の変革とユビキタス化（2022.08.15）をご紹介しました。

今回は人の生活、仕事を支援するサービスロボットの進化の歴史（2022.9.15）をご紹介します。

サービスロボットが世界中で生活や仕事を変えつつあります。今やロボットは工場で動くだけでなく、レストランや病院、介護施設、スポーツ競技場など、あらゆる場所で活躍しています。実は皆さんが毎日使っているパソコンの中にもロボットの範疇にある技術が使われています。

3連載の第1回となる今回は、そんなロボットが進化してきた背景、歴史について解説をしていきます。



人を直接支援するサービスロボット

ロボットというと工場で働くロボットを思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。小学校の教科書にも載っている工場のロボットは、実は「**産業用ロボット**（通称：産ロボ）」と呼ばれています。

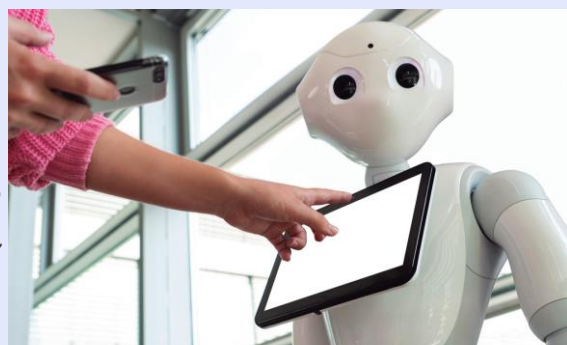
一方、皆さんの日常生活で活躍するロボットも存在します。数年前にメディアで話題になったソフトバンク社の人型ロボット「Pepper」を見たことがある人も多いのではないのでしょうか。また、レストランで配膳を行う棚のようなロボットが動いているのを見たことがある人もいらっしゃると思います。

これらのロボットは人を直接支援（サービス）するということで「**サービスロボット**」と呼ばれています。サービスロボットは人間を直接支援し、人に代わって作業してくれる、私たちにとっての仕事のあり方を大きく変える存在です。作業が効率化され、同じ時間で多くのアウトプットを出すことができるようになります。まさに働き方改革です。

生産効率が上がることから会社はより多くの利益を出すことができ、給与アップにもつながります。

重労働作業、危険作業をサービスロボットが肩代わすれば、体の疲労や病気・ケガ、事故などが軽減されます。

人口減、少子高齢化の日本においてサービスロボットは「救世主」と言っても過言ではないのです。



ソフトバンク社の人型ロボット「Pepper」

サービスロボットの古い歴史

サービスロボットの研究は古く、日本では1950年代から始まったと言われています。そして1970年代には世界で初めて二足歩行ロボットが誕生しました。

早稲田大学で開発された「WABOT-1」というロボットです。WABOTはその後、改良を加えられ1980年終盤には階段を昇り降りするなどロボットには難しいとされていた動きを実現しました。

その後、WABOTを皮切りに、世界中で多くのロボットが開発されていきました。

1999年にはソニーからペットロボットである「aibo」の発売が開始され、翌2000年には本田技研工業からヒューマノイド型の「ASIMO」が発表されました。

ASIMOの動きはあまりにも滑らかで、中に人が入っているのではないかと思ったものです。しかし、これらは大きなビジネスにはつながりませんでした。人間と同じような作業ができるわけではなかったからです。

「ビジネスでもうまくいく」を示したルンバ

そんなサービスロボット業界に「ビジネスでもうまくいく」と示したのが、2002年に発売を開始したiRobot社のお掃除ロボット「ルンバ」です。

ルンバはまさに世界を変えました。ルンバによって家庭内にロボットが入り込み、身近な存在になりました。

そして、ルンバはさまざまなことに気づかせてくれました。

まず、人々の「面倒」を肩代わりすることがサービスロボットの本分であるということです。多少値段が高くても面倒を肩代わりできれば人々は利用します。



iRobot社のお掃除ロボット「ルンバ」

次に自律的に動くことが大事だということです。

この「自律」という言葉は曖昧さを含むものですが、ここでは「人間が指示しなくても動く」ということにしましょう。

ルンバは自律的に動き、ゴミを吸い込み、電源ドックに戻ります。この自律性に人は「人間味」を感じるようです。人間味を感じるからこそ愛着を持って長期間使うということになります。

それが「ビジネスでもうまくいく」ことにつながりました。

サービスロボット発展期から現在

「ビジネスでもうまくいく」と示された2000年代～2010年代は、サービスロボット発展期と言えます。現在使われている**搬送ロボット**、**ドローン**、**倉庫内ロボット**、**受付ロボット**、**アシストスーツ**などはこの時期に出現します。

これらによって人間が行う業務は大変革を遂げる可能性が出てきました。

人間が「単調」、または「危険」と思っていたさまざまな作業をロボット化できると、人間はより考える仕事、複雑な仕事、安全な仕事に集中できます。

もともと人間は、面倒な仕事や単調な仕事に対しての耐性がありません。

それらの仕事を長期間続けることで精神的に追い詰められたり、生産効率が悪くなったりします。

危険な仕事に対しては「積極的にやりたい」と思う人は限られます。

これらをロボットにやってもらうという流れは当然のことです。

試しに自分が面倒だと思う業務、家事、そのほかあらゆる行動を思い浮かべてみてください。日常生活においては、カーテンの開け閉め、食事の準備などでしょうか。

業務では、倉庫におけるピッキング作業、レストランにおける配膳など、考えればキリがありません。

これらの多くを代替するサービスロボットはすでに誕生しています。

これにより人は生産効率を飛躍的に上げることができ、時間に余裕が生まれます。

余裕時間の多さは幸せ感の高さに比例しますから、サービスロボットはまさに人類に幸せをもたらす技術、世界を変える技術なのです。

皆さんもぜひ、本稿で紹介した「サービスロボット」に対し、頭の中でのアンテナを立てて街中を散歩してみてください。

さまざまなサービスロボットが動いているのに気がつくはずですよ。

それらサービスロボットは我々人間の将来を幸せなものに変えていく「救世主」ですから、積極的に応援してあげてください。

【お役立ち情報：大前さんに「世界の新潮流2022年」を学びました】

1/12 大前さんに「世界の新潮流2022年～地政学・安保リスクがもたらす世界」を学ぼうを開催しました。タイムリーなテーマだったこともあり、全国からたくさんの方に参加いただきました。ありがとうございました。募集開始時には例年恒例の「2022年経済から見た今後の経済見通し（仮題）」とご案内していましたが、昨年は2月にロシアのウクライナ進攻が始まり、それ以降も重要な事項が起きました。大前さんはこれだけ重要なことが起こった年は記憶になく、今年以降も影響するとおっしゃっています。

そこで当日は「**世界の新潮流2022～地政学・安保リスクがもたらす新たな世界～**」というテーマになりました。これまで**地政学は経済への影響が大きかった**のですが、ロシアでの企業撤退にみるように**経営リスクももたらしました**。

当日参加できなかった方に概要をお伝えします。

【世界経済の動向】

- ・いまだ新型コロナウイルスの感染が続いており、世界経済の成長見通しは大幅に鈍化している。
- ・物価が上昇する中で、各国は金融引き締め政策を実施しているが、異次元緩和を継続する日本では円安が急激に進行している。

【高まる3つの地政学リスク】

1. ロシアのウクライナ進攻

- ・ロシアのウクライナ進攻が食料・資源エネルギー価格の高騰や安全保障など様々な問題へと波及している。
- ・強権国家が増える中、ロシアのウクライナ進攻対応で国連の機能不全が改めて浮き彫りになった。

2. 米中新冷戦

- ・米ソ冷戦時代とは異なり、米中新冷戦は経済の相互依存が対立を複雑化している。
- ・米中対立を帰結させるためには、軍事的・ハイテク競争的な制約を条件として締結するかなど新しい取り組みが必要となる。

3. 北朝鮮のミサイル発射

- ・米中関係の緊迫化に呼応するように北朝鮮によるミサイル発射実験の頻度が著しく高まっている。
- ・地政学・安保リスクの高まりから防衛強化に向けた議論が噴出しているが、朝日新聞的戦後民主主義との決別が必要になる。

【世界の主要国・地域の動向】

- ・世界の主要国・地域は、リーダーが不在となるか独裁化しており、混迷の時代を迎えている。

【日本の動向】

- ・安倍元首相を国葬にする成果は見当たらない。統一教会や創価学会のもたらす政治的意味合いは選挙支援とその見返りである。
- ・岸田首相は、得意のはずの外交で軸を失って漂流状態になっている。気がつけば没落国家となった。

【2023年に日本の取るべき指針】

- ・ロシアや台湾に進出している日本企業は、万が一の事態に備えて**自社・自社員を守るべく手を打っておく必要**がある。
- ・国民は政府をあてにせず、**学びなおしにより自身の価値を高めることで、混迷の時代に自分を守れ**。

【お役立ち情報：ICT最新情報をご紹介します。】

これまで大前さんに学ぼうにお申込みしていただいた方に、メールにて協会活動の情報提供をしています。その中でICT最新情報をまとめてみました。今回はその内容をご案内いたします。青字（アンダーラインあり）のところをクリックすると該当のページがご覧いただけます。

1. 2022サイバーセキュリティ対策講座

昨年11月に開催しました講座資料です。最新のサイバー攻撃の中から具体的な対策などを記載してあります。貴社の社内研修等にお使ください。

2月には2023サイバーセキュリティ対策講座を開催します。各支部のHPをご覧ください。

2. ICT活用事例

ICTを活用されている事例を5社紹介しています。

(1) DXセレクション2022（経済産業省）

中堅・中小企業等のモデルケースとなるような優良事例取組（経産省）を3社紹介しています。

(2) 通信事業者編

NTT、KDDI、ソフトバンクでの取り組みを数分の映像で紹介しています。

3. 映像で見るICTを支える技術

ICTを支えるHOTな技術や活用について、今回はDX、AI、5G、IOWNを短い映像で紹介しています。

4. 情報通信白書（総務省）

情報通信白書は刊行から50年になります。ICTとデジタル経済の変遷がまとめられています。IT（情報技術）およびICT（情報通信技術）に関する政府の取り組み、成長戦略、諸政策とその進捗状況、国内外の業界の動向、今後の方針や展望、各種調査資料などがあります。

5. ICTを活用を活用した経営・業務効率化、販路拡大に関する事例のご紹介！

販売拡大を支えるクラウドシステムの独自開発、コロナ禍による業績の悪化をSNSの活用で見事にカバーした雑貨店の挑戦、2社の事例をご紹介します。

(1) DXってなんだろう

初手に返ってDXの定義から再確認しています。

6. 映像でみるDXのご紹介

業務変革、企業変革、社会変革するDXの事例を短い映像で紹介しています。

7. DX推進事例のご紹介

中小企業のDX推進事例を記事や映像で紹介しています。

<原稿大募集しています！>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。

いつでも待ってま～す。写真等も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp（川畑）までファイル（A4）を送ってください。

オンライン開催

ユーザ協会会員は **参加費無料**

2023 サイバーセキュリティ対策講座

2023年2月22日(水) 13:30 ▶ 16:00

近年、新型コロナウイルスの影響でより世界的にデジタル化が進んだことで、サイバー攻撃の脅威はかつてないほど高まっています。日本においても、企業の規模を問わず、急速に普及したインターネット環境を巧みに利用したサイバー攻撃が急増し、被害も増えています。

本講座は、セキュリティ対策における様々な分野のプロフェッショナルから、サイバー犯罪等の情勢、対策のノウハウ、万一被害を受けてしまった場合の備えなどを学んで頂きます。

経営者・管理者の皆様の参加は勿論、社内研修の代行としてもご活用ください！

【カリキュラム】 ※都合により、内容が変更する場合があります。

【第1部】 サイバー空間をめぐる脅威の情勢とサイバーセキュリティ対策【50分】

〔警視庁 サイバーセキュリティ対策本部 担当官〕

- ◆サイバー空間における脅威の情勢等を基に、目に見えない“サイバー空間に存在するリスク”をご理解頂きます。
- ◆メール攻撃によりパソコンがマルウェアに感染すると、目に見えないところでどのような被害を受けてしまうのか、分かり易いドラマ形式の映像をご覧頂き、コメントを頂きます。

【第2部】 総務省が取り組むサイバーセキュリティの最前線と対策【30分】

〔総務省 サイバーセキュリティ統括官室 調査員〕

- ◆近年、サイバー犯罪は増加・巧妙化しており、被害は大企業だけではなく中小企業にも拡大しています。本セミナーではサイバーセキュリティ事故の最新動向や総務省の取組をもとに、対策や被害を受けてしまった場合の備えについてご説明させていただきます。

【第3部】 基本から再確認！！2023情報セキュリティ講座【60分】

～今日からすぐに出来るセキュリティ対策の基礎知識を習得！

〔ユーザ協会 近畿事業推進部長 川畑 文雄 氏〕

- ◆インシデント事例と原因の本質について掘り下げ、その基礎的な対策を体系的に分かり易く説明します。専門知識がなくても安心して参加できます。
- ◆万一被害にあった場合の対処方法(初期対応・専門家支援など)を具体的な行動として説明します。

(注)本セミナーの録音・録画は禁止とさせていただきます。ご協力の程お願いします。

定員

300名

受講料

ユーザ協会会員:無料

一般:5,500円(税込)

※これを機会に是非入会をご検討ください。

お申し込み方法

2月20日(月)までに 右の QRコード または

以下申込サイトからお申込みください。

<https://coubic.com/jtua-kinki/724794>

聴講方法

「Zoomウェビナー」にてライブ配信します。

URL等詳細は、お申込み直後予約確認メールにてお申込みメールアドレス宛にご案内致します。



セキュリティの最新情報も
アップデートできます。
支部HPにて絶賛募集中！

あの講話がこの価格で聞けるなんて。

ユーザ協会
限定特別価格

BBT研修プログラムはコチラから



撮影/大田真三(小学館)

この値段でこのパフォーマンスにびっくりです。

あの大前研一さん率いるBBTの研修がユーザ協会会員様特典として利用いただけるようになりました。

BBTのコンテンツの中から、協会会員様のために特に選びました。
「見て学ぶ」と「参加して学ぶ」があります。

見て学ぶ

ビジネス講義映像

ブロードバンド・ラーニング(BBL)

詳細・お申込みはこちら



<経営者講義 - 19 講座>

定価33,000円(税込)を当協会
会員様は**1割引29,700円(税込)**で
ご視聴いただけます。

どの講座も大前研一さんの講演以外に業界の最先端に行く経営者の
講演が盛りだくさん！ これからの経営のヒントがたくさんあります。

参加して学ぶ

詳細・お申込みはこちら

5,500円(税込)
でご視聴いただけます。



みんなで脳に汗をかこう！！

ビジネスアウトプットGYM

いつでも学べる動画で「インプット」し、
LIVEトレーニングで「アウトプット」

まるでスポーツジムに通う感覚で、
ビジネススキルをオンラインで鍛える

詳細はこちら！

<https://wstg-bbt.staging-bbt757.com/corporate/sd/063jtua/index.html>



<近畿 6 支部限定プレゼント>

新規ご入会様、既存会員様

本特典ご利用で「DX革命(大前研一著)」を
プレゼントいたします！

後日、連絡責任者様へ送付させていただきます。